

防舷材設置に伴う作業足場の安全対策

(社)高知県土木施工管理技士会

須工ときわ株式会社

工務課長

漆 畑 哲 也[○]
三 好 智

1. 適用工種

港湾維持管理工事

防舷材設置工

300H×2,000L

2. 改善提案

角鋼管□60×60×2.3 (STKR400) にて、吊卸し、
転用可能な足場をあらかじめ工場製作した。

3. 従来工法の問題点

単管パイプ等で、防舷材設置場所毎に作業足場を
設置していた。

設置場所毎に、組立・解体作業が必要であるが、
夜間足場を岸壁に据え置く事はできないので、毎日
作業終了後解体していた。

4. 工夫・改善点

角鋼管にて工場製作しているので大変軽量で品質
が一定し、何回でも転用が可能である。

4段階に足場板を設置することで、それぞれの作
業高さに対応できる。岸壁に後施工アンカーを施工
し、ワイヤーにて足場を固定するので、設置が大変
容易であった。

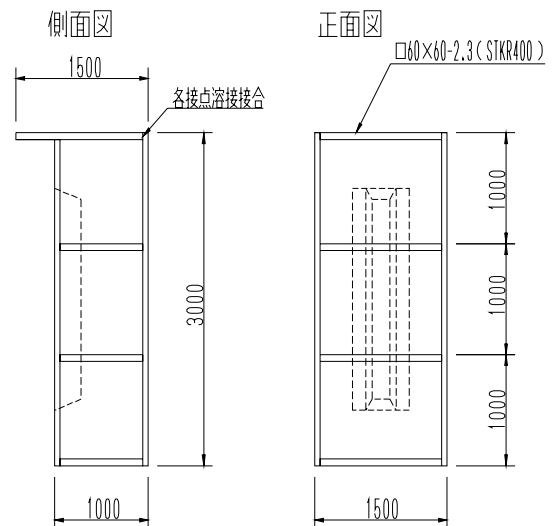


図-1 作業足場構造図

5. 効果

転用が可能な為に、防舷材設置作業が完了したら、
クレーンで次工程の設置箇所へ移動ができ、足場設
置による時間的ロスがなかった。



写真-1 作業足場詳細

7. 採用時の留意点

本作業足場を複数用意するため、防舷材設置数が多い場合は足場転用による、タイムロスがなく、作業の工期短縮につながる。

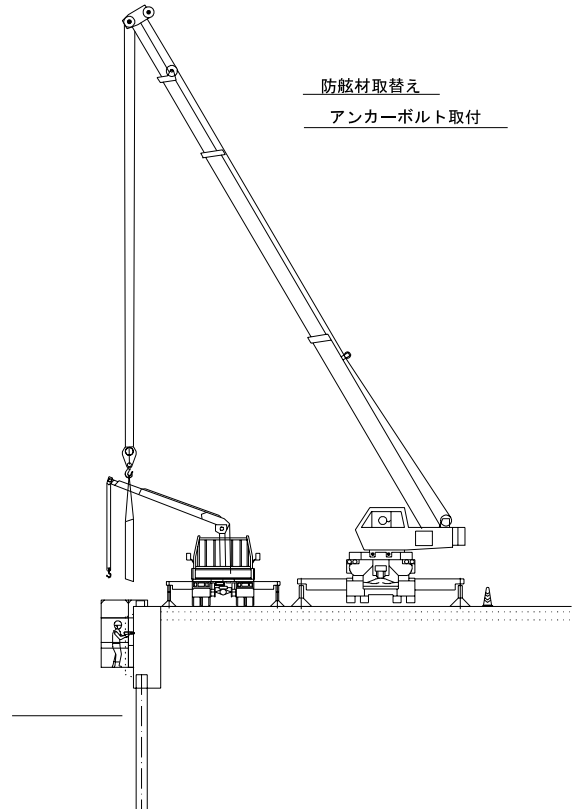


図-2 作業要領図



写真-2 足場クレーンによる転用状況

6. 適用条件

一般的な岸壁、物揚場に設置が可能である。

現在製作している足場工は、幅1.5m、高さ1.0mなので、それ以下の防舷材についても設置作業が可能である。